

製品名: TATA ボックス結合タンパク質マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM84959

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	TATA Box Binding Protein
別名	TBP; GTF2D1; TF2D; TFIID; TATA-box-binding protein; TATA sequence-binding protein; TATA-binding factor; TATA-box factor; Transcription initiation factor TFIID TBP subunit
遺伝子 ID	6908.0
SwissProt ID	P20226
免疫原	大腸菌で発現した精製組み換えタンパク質。

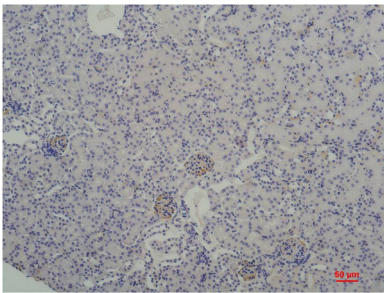
背景

転写開始複体に含まれる数少ないタンパク質の一つである TBP は、DNA に配列特異的に結合することで、RNA ポリメラーゼ II を遺伝子の転写開始部位に配置するのに役立ちます。しかしながら、ヒトプロモーターのうち TATA ボックスを持つのはわずか 10~20%と推定されています。したがって、TBP は RNA ポリメラーゼ II の配置に関与する唯一のタンパク質ではないと考えられます。このタンパク質は、核膜が除去されたサンプルには適していません。

研究分野

-

画像データ



TATA ボックス結合タンパク質抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。